

自然がつくった造形美・吉田のシラス地形めぐり



▲「ぬき」と呼ばれるシラス地形につくられた用水路のトンネル。

平成29年11月11日(土)

NPO法人まちづくり・地域フォーラムかごしま探検の会さんの運営で、「自然がつくった造形美・吉田のシラス地形めぐり」が、吉田地域をめぐるバスツアーにて開催されました。

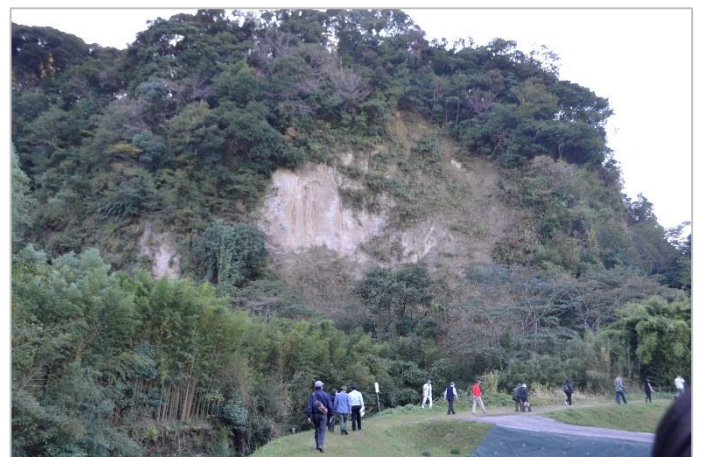
この日は晴天にめぐまれ、バスで鹿児島中央駅西口を出発した後、地質地形の話として阿多火砕流や吉野火砕流の話を聞きながら、吉田地域のシラス地形を目指しました。

途中では、大正時代につくられた石橋を見学したり、桐野利秋田蘆跡も訪ねたりして、地質地形とつながる歴史の話も聞きました。話を聞くと、生活と地形が意外につながっていることが感じられました。

みなさん、熱心に話を聞き、質問も多くとびました。有意義な地形探訪となりました。



▲吉田地域に残される大正時代につくられた石橋見学。



▲シラス地形をよく観察できました。